

三浦市議会だより

第 139 号
 令和元年(2019年)11月1日
 編集：議会だより編集委員会
 発行：三浦市議会
 〒238-0298
 神奈川県三浦市城山町1番1号
 ☎ 046(882)1111内線462・463



第38回 若宮初声っ子相撲大会 小学生の取組

第3回定例会

平成三十年度決算を認定 選挙事務等に関する調査特別委員会を設置

定例会の経過と概要

| 月日 | 曜日 | 会議名 | 内容 |
|------|----|-------------------------|---|
| 9月5日 | 木 | 本会議 | 会期の決定、一般質問 |
| 6日 | 金 | 本会議 | 一般質問 |
| 9日 | 月 | 本会議 | 一般質問、議案の審議(説明・委員会付託)、決算審査特別委員会の設置 |
| 10日 | 火 | 総務経済常任委員会 | 議案・陳情の審査 |
| 11日 | 水 | 都市厚生常任委員会 | 議案・陳情の審査 |
| 13日 | 金 | 決算審査特別委員会 | 議案の審査 |
| 17日 | 火 | | |
| 18日 | 水 | | |
| 19日 | 木 | | |
| 20日 | 金 | | |
| 24日 | 火 | 本会議 | 議案の審議(説明・委員会付託) |
| | | 都市厚生常任委員会 | 議案の審査 |
| | | 全員協議会 | 石渡道臣議員に関する件 |
| 25日 | 水 | 三浦国際市民マラソン事業に関する調査特別委員会 | 三浦国際市民マラソン事業に関する調査 |
| 27日 | 金 | 本会議 | 議案の審議(総務経済・都市厚生・決算審査の各委員長報告・討論・採決)、意見書案、人事案件(教育委員会委員、公平委員会委員、人権擁護委員)、選挙管理委員会の事務等に関する調査特別委員会の設置、閉会中継統審査申し出、議員派遣について、報告 |

令和元年第三回定例会は、九月五日から二十七日までの二十三日間を会期として開かれました。
 今定例会では、平成三十年度決算を初めとする、二十九議案の審議を行いました。
 また、最終日には、陳情の審査に伴い提出された意見書二件を可決しました。

〈議会だより第139号の内容〉

| | |
|------------|------|
| 定例会の経過と概要 | 1面 |
| 決算審査特別委員会 | 1~2面 |
| 常任委員会 | 2面 |
| 陳情の審査 | 3面 |
| 議会の活動から | 3面 |
| 一般質問 | 3~6面 |
| 全員協議会 | 6面 |
| 特別委員会の設置 | 6面 |
| 本会議における討論 | 7面 |
| 人事 | 7面 |
| 議会活動を見てみよう | 7面 |
| 可決した意見書 | 7面 |
| 検討委員会の設置 | 7面 |
| 1面写真の紹介 | 7面 |
| 議会報告会 | 8面 |
| 次回定例会の予定 | 8面 |
| 議案等の審議結果 | 8面 |

決算審査特別委員会

議案の審査概要

平成三十年度の一般会計、特別会計(国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険、市場、公共下水道、第三セクター等改革推進債償還)及び企業会計(病院、水道)の決算議案は、八人の委員で構成する決算審査特別委員会に付託され、五日間にわたり審査されました。

決算審査特別委員会

委員長 出口眞琴
 副委員長 藤田 昇
 委員 蓮本 一朗
 寺田 一樹
 石橋むつみ
 鈴木敏史
 長島満理子
 神田眞弓

総括質疑

市政全般にわたり市長に質疑

市の財政運営

質問 平成三十年度を総括しての市長の感想をお聞きしたい。

答弁 ごみ処理の広域化や市民交流拠点整備などの事業が準備段階として進んでおり、財政的に厳しい面はあったが、着実に進められた一年だと考えている。

歳入増加策

質問 財源対策検討委員会において歳入確保策、歳出削減策を検討しているが、底をついた感がある。今後の取

り組みは。

答弁 税収を急激にふやすことは難しいので、手数料の額を上げることやサービスの対価を求めるところも一つの手段だと思っている。

ふるさと納税制度の活用が大きなテーマだと考えており、事務の外部委託化など、歳入増加策としてバージョンアップを図ることを検討したい。

水産業の振興

質問 低温卸売市場は平成三十年四月の稼働から一年半が経過したこのことに対する市長の所見を伺う。

答弁 三崎のマグロブランドをつくっていくために重要な施設だと思っている。業界と協力して荷が集まってくるような方策を進めたい。

(その他の質疑項目)

・広域消防による防災機能の強化について
 ・子育て支援について
 ・ごみの収集業務の一部委託化について

一般会計

歳入

- ・市税の収納強化の取り組みについて
- ・市税の不納欠損額と滞納繰越額が減少した理由について
- ・口座振替及びコンビニ収納による納付の実績について

歳出

- **総務費**
 - ・ふるさと納税の件数が増加した要因について
 - ・移住希望者向けのバスツアー開催について
 - ・市職員の欠員の補充状況について
- **民生費**
 - ・聴覚障害者への支援の充実について
 - ・市内における児童虐待の発生状況について
- **質問** 平成三十年年度から火葬場の指定管理者が変わったが、利用者の反応はどうか。

- **衛生費**
 - ・若者に対する自殺予防の啓発について
 - ・子宮頸がん検診の受診率向上に向けた取り組みについて
- **農林水産業費**
 - ・浜の活力再生プランによる取り組みについて
 - ・有害鳥獣被害への対策

歳入

- **商工費**
 - ・三浦国際市民マラソンでの新たな取り組みについて
 - ・観光消費額を向上させるための方策について
- **質問** 教育旅行受け入れによる成果は。

歳出

- **答弁** 市内の民宿等への宿泊や体験学習などによる消費額は約七千八百二十万円に上った。
- **土木費**
 - ・みうらっ子応援プロジェクト（ふるさと納税）による寄附金を活用して設置された公園遊具について
 - ・市内にある橋梁の点検結果について
- **消防費**
 - ・各地区で行う防災訓練の参加人数について
 - ・防災行政無線のデジタル化に伴う設備更新後の放送について
- **教育費**
 - ・外国語教育の推進について
- **奨学事業の実施結果と基金の運用について**
- **災害復旧費**
 - ・三十年度の台風被害について
- **公債費**
 - ・退職手当債借入れの基準について

- **国民健康保険事業**
 - ・ジェネリック医薬品の差額通知による効果に

特別会計

- **国民健康保険事業**
 - ・制度改正に伴う市民サービスの変化について
 - **意見** 保険税率が改定されることから本案に反対する。
 - **後期高齢者医療事業**
 - ・保険料の還付金が増加した理由について
 - ・普通徴収と特別徴収の人数の割合について
 - **介護保険事業**
 - ・介護認定までに要する期間について
 - ・配食サービスの利用が増加した理由について
 - **市場事業**
 - ・市場食堂の前事業者による使用料等の滞納について
 - ・市場等の施設に係る維持管理費が増加した理由について
 - **公共下水道事業**
 - ・コンセッション方式導入に向けた事業の進捗状況について

常任委員会

議案の審査概要

総務経済

- **三浦市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例**
 - ◎ **三浦市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例**
 - ◎ **地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例**
 - 以上二件は、会計年度任用職員制度の創設を受け、必要な規定の整備等を行うものです。
 - ◎ **三浦市基金条例の一部を改正する条例**
 - ◎ **三浦市森林環境譲与税基金の設置等を行うもの（質疑の主な項目）**
 - ・市民への周知方法について
 - ◎ **三浦市基金条例の一部を改正する条例**
 - ◎ **三浦市森林環境譲与税基金の設置等を行うもの（質疑の主な項目）**
 - ・三浦市の森林面積について
 - ◎ **三浦市消防団条例の一部を改正する条例**
 - ◎ **三浦市印鑑条例の一部を改正する条例**
 - ◎ **三浦市災害用慰金の支給等に関する条例の一部**

質問

- **公共下水道への接続状況は。**
- **答弁** 新たに九件が公共下水道に接続し、接続率は九〇・五%となった。
- **意見** 公共下水道は供用開始から二十年が経過した。接続している方に不公平感が生じているので、引き続き接続促進に取り組むよう求める。

企業会計

病院事業

- **質問** 公共下水道への接続状況は。
- **答弁** 新たに九件が公共下水道に接続し、接続率は九〇・五%となった。
- **意見** 公共下水道は供用開始から二十年が経過した。接続している方に不公平感が生じているので、引き続き接続促進に取り組むよう求める。

第三セクター等改革推進債償還事業

- **土地貸し付け収入の内**
- **第三者セクター等改革推進債償還事業**

- **九月十一日の審査**
- ◎ **三浦市災害用慰金の支給等に関する条例の一部**

都市厚生

- **三浦市災害用慰金の支給等に関する条例の一部**
- **九月十一日の審査**
- ◎ **三浦市災害用慰金の支給等に関する条例の一部**

質問

- **公共下水道への接続状況は。**
- **答弁** 新たに九件が公共下水道に接続し、接続率は九〇・五%となった。
- **意見** 公共下水道は供用開始から二十年が経過した。接続している方に不公平感が生じているので、引き続き接続促進に取り組むよう求める。

一般会計

- **質問** 公共下水道への接続状況は。
- **答弁** 新たに九件が公共下水道に接続し、接続率は九〇・五%となった。
- **意見** 公共下水道は供用開始から二十年が経過した。接続している方に不公平感が生じているので、引き続き接続促進に取り組むよう求める。

第三セクター等改革推進債償還事業

- **土地貸し付け収入の内**
- **第三者セクター等改革推進債償還事業**

- **九月十一日の審査**
- ◎ **三浦市災害用慰金の支給等に関する条例の一部**

都市厚生

- **三浦市災害用慰金の支給等に関する条例の一部**
- **九月十一日の審査**
- ◎ **三浦市災害用慰金の支給等に関する条例の一部**

※ コンセッション方式……料金収入がある公共施設について、市が所有権を有したまま施設の運営権を民間事業者を設定する方式

常任委員会での陳情の審査結果

9月定例会で審査を終えた陳情は、次のとおりです。

| 所管委員会 | 件名 | 結果 |
|-------|---|---------|
| 都市厚生 | 教職員定数改善の推進と義務教育費国庫負担制度の国負担2分の1復元をはかるための2020年度政府予算についての陳情書 | 取り下げ承認 |
| | 国に対して「放課後児童クラブ(学童保育)の質の確保を求める意見書」の提出を求める陳情書 | 了承できるもの |
| | 令和2年度における「重度障害者医療費助成制度継続」についての陳情 | |
| | 令和2年度における「障害児者・透析者を含む移動困難者に対する通院支援」についての陳情 | |
| | 教職員定数改善の推進および教育予算の拡充を求める2020年度政府予算についての陳情書 | |



市内での新しい事業展開について視察するため、総務経済常任委員会を主体に、全議員で初声町高円坊にあるデリーターファームを見学しました。この施設では、陸地で地下水を利用して魚を養殖しており、成長に応じた大きさの生けすの中でチョウザメやニジマスが飼育されています。チョウザメからとれるキヤビアは市内の飲食店で食べることができそうです。

議会の活動から

市内での新しい事業展開について視察するため、総務経済常任委員会を主体に、全議員で初声町高円坊にあるデリーターファームを見学しました。この施設では、陸地で地下水を利用して魚を養殖しており、成長に応じた大きさの生けすの中でチョウザメやニジマスが飼育されています。チョウザメからとれるキヤビアは市内の飲食店で食べることができそうです。

新たに提出された陳情

- ◎令和二年度における「重度障害者医療費助成制度継続」についての陳情
趣旨 令和二年度予算策定に際し、重度障害者医療費助成制度について、障害児者が負担なく医療が受けられるような施策を求めています。
- ◎令和二年度における「障害児者・透析者を含む移動困難者に対する通院支援」についての陳情
趣旨 令和二年度予算策定に際し、障害児者・透析者を含む移動困難者に対する通院支援を行う施策を求めています。
- ◎教職員定数改善の推進および教育予算の拡充を求める二〇二〇年度政府予算についての陳情書
趣旨 本陳情は、①子供たちの教育環境のために、計画的な教職員定数改善を推進すること、②学校施設整備費や、学校・通路の安全対策など教育予算充実のため、国の予算を拡充することについて、国に意見書を提出するよう求めています。
- ◎陳情(消費増税に反対し、景気浮揚を求める意見書の採択について)
◎横田ラプコンを撤廃し空域の主権を取り戻し、国内法の適用を求める陳情
趣旨 以上二件の陳情は、表題の事項について、国に意見書を提出するよう求めています。
- ◎特別委員会設置についての陳情書
◎三浦市議会を本来の市民の為の議会に戻すことを求める陳情書
趣旨 以上二件の陳情は、表題の事項を三浦市議会として行うよう求めています。
- 右の四件の陳情は、陳情書処理規程の定め(①市の事務又は議会運営に関係しない事項を願意とするもの、②市内に住所を有しない者から郵送により提出されたもの、に該当)により、委員会付託しないことを議会運営委員会で決定しました。

一般質問

質問と答弁の要旨

一般質問とは、市政全般にわたって報告や説明を求めたり、疑問をただすことをいいます。
一般質問の記事(本文・写真)は、質問した議員が作成しています。



地域福祉について



他、介護予防・日常生活支援
公明みうらクラブ 溝川 幸二

「三浦市地域福祉計画」
質問 計画は三期目の最終年、現在の進捗は？
市長 「地域の見守りと安心できるまちづくりに関する協定」は現在六事業者と協定中。「ひとり世帯の把握」は、民生委員・児童委員が六十五歳以上の名簿を閲覧、地域の実情の把握に努めている。以下、省略。
質問 地域福祉計画は任意計画だったが、平成三十年四月に努力義務へ。更に、行政計画の「上位計画」へ位置づけられた。この位置づけについて、市はどう展開するのか？
保健福祉部長 第四期地域福祉計画策定中。現在、素案を作成中。他計画の上位計画と位置づける必要を踏まえ、子ども課、高齢介護課等関係各課と連携し作成する。
質問 介護予防・日常生活支援総合事業
市長 市では平成二十九年四月より要支援一と二など自治体責任で実施する「総合事業」を開始。
質問 サービス内容や利用頻度等は、自治体管轄となり、財源、高齢者福祉に対する理解度により地域格差はないか？
保健福祉部長 順次、総合事業に移行。当初は従来同様の制度として開始。総合事業になり、サービスの質に変化はないと考える。
質問 地域福祉推進主体は地域住民とあるが、担い手の確保や育成はどう考えているか？
市長 福祉課題は複雑、多様化。従来の「福祉は行政が行うもの」だけでは解決できない、課題解決には地域住民の積極的参加は欠かせない。担い手確保、育成は、社会福祉協議会、民生委員・児童委員と協力していく。
◎その他、インバウンド対策として、無料公衆無線LANの設置についての質問。市は、財政的な理由もあり、設置は難しいが、三崎下町商店街では、神奈川県「外国人観光客受入環境整備補助金」を活用し、商店街独自で公衆無線LANを年度内に整備する予定。と答弁があった。
◎最後に、私は公約の中で「福祉の充実」を掲げてきた。これからは福祉に強い関心を示し、その進捗をチェックするとともに、場合によっては私見を述べさせていただき所存である。

(一般質問の記事と写真は、質問者から提出されたものを掲載しています)



消費税率引き上げ みうらピースデー、教科書採択 日本共産党 石橋むつみ

質問 増税前提の国の施策の一つ、プレミアム付商品券の案内方法や申請数、問合せ等の現状と日程を問う。また経費は全額国費と言いつつながら目安額を大きく上回る自治体負担も生じていると聞くが三浦市ではどうか。

市長 市では委託内容見直しや直営への切りかえ等で経費削減につとめると共に、自治体負担を生じさせないよう全国市長会を通じ国に要望をしている。

保健福祉部長 八月中旬、本人非課税の方約九千人に交付申請書を郵送、う

催された。平和を誓うこのような取り組みの継続を願う。

政策部長 当日はアニメ「ガラスのうさぎ」上映の他、平和を願う歌やアオギリ二世の物語朗読などがあつた。プレイベントでは第五福竜丸記念館から借用した「あっちゃイケナイ核兵器」写真パネルの全小中学校巡回展や映画「放射線を浴びたX年後」上映も行った。



城山で育つ被爆アオギリ二世

市長 共催の地区労や市民の協力もあつて、成長

してきていると感じる。継続と共にホームページの充実に取り組む。平和首長会議国内加盟都市会議総会には出席の予定。

質問 八月五日の教育委員会会で来年度から小学校で使う教科書が採択された。方法と手続を問う。

教育長 校長会・教育研究会・保護者・教育委員の各代表と教育長で構成する採択検討委員会が、現場の教員が行う調査研究の報告、授業の様子を聞き取り、教科書の巡回展示での保護者や地域の方々の意見などを協議結果にまとめ、これを参考に、教育委員会が市の採択方針に沿って協議し採

択している。



三浦縦貫道路開通 旧三崎中学校跡地の利活用 明日の三浦 石渡 道臣

質問 来年度、開通が予定されている三浦縦貫道路の高円坊出入口(仮称)は三浦市道十四号線と接続するものであり、開通に伴い市道十四号線の交通量の増加が予測されるが、増加に伴う対策をお聞きしたい。

都市環境部長 市道十四号線と国道百三十四号が交わる初声小学校入口交差点の混雑が予想されることに対応して、市道十四号線に右折レーンを設置して、円滑な交通の確

保に努めている。
質問 市道十四号線は、初声小、中学校の通学路として利用されている。高円坊出入口(仮称)より初声小、中学校に向かう市道十四号線は、直線区間が長く、速度が出やすい路線である。又カーブも数か所あり、この様な特性を持った市道十四号線の、歩行者への安全対策はどの様に行っているのか。
都市環境部長 ガードレールの設置を行っている。



高円坊出入口に向う市道14号線

質問 通学路の安全対策は、三年に一度、学校関係者含め、対策箇所を選定して対応している。来年度は、市道十四号線の一部歩道幅員の狭い箇所の拡幅を計画している。当市でも二五年に

は、小学校を八校から三校に統廃合するようにめざしている。将来を予測して廃校のリノベーションを考える必要がある。旧三崎中学校跡地は具体的にどの様な検討をしているのか。

市長 三崎下町地区を初めとした三崎地区全体に経済効果をもたらす施設の導入、具体的には滞在時間の延長に資する施設、例えば宿泊施設等も想定している。民間資本の導入を期待するもので様々な検討をしていく。又城山地区全体での利活用を考え、市役所の移転も含め、コミュニティ施設の維持を含め、総合的に検討する。



資源の活用 図書充実 無所属 寺田 一樹

質問 よく三崎下町商店街にはたくさん資源があると言われている。民間レベルでは、それらの資源を活用し、新たな資源を作り出す動きも見え始めてきているが、行政としてはどのように考えているのか伺う。

経済部長 三崎の下町では、移住者が既存の建物を改装し、簡易宿泊所や店舗を開店しており、こうした動きは市としても大変よい傾向であると認

識している。

質問 姉妹都市である須坂市は、蔵のまちとして知られている。蔵造の建造物が連なり、統一した街並みが、来た人を迎えては、長期的視点から街並みの統一をどのように考えているのか。

都市環境部長 蔵を中心とした街並みの創造は難しいと考える。しかし、既存の蔵を含め、伝統的な建物が有効に保存されていない課題もあるので、



趣のある街並み



水産基盤事業 総合型地域スポーツクラブ支援 自由民主党 長島満理子

質問 沿岸卸売市場の改修が始まった。附帯施設を整備し、三崎に魚を集めることが重要である。三崎の水揚げ量及び市内漁港の水揚げ量について伺う。また、漁港の水揚げを三崎に集約する必要があると考えるが、考えを伺う。

市長 漁港の機能の集約について、水産物流通の効率化や産地市場の競争力強化を目的とし、拠点漁港に近隣の漁港の集出荷機能を集約し、流通に

かかるコストを低減するための取り組みを支援している。漁港機能の集約は必要な施策であると思

っている。平成三十年の三崎漁港の沿岸漁業の取扱量は千九百五十五トンとなり、仮に漁港で水揚げされる水産物を全て三崎漁港に集約すれば、約二五%取扱量が増えると思定される。

質問 スポーツを通じて健康維持を促進し、コミュニティをつくる事例がある。総合型地域

スポーツクラブが関わり、地域活性化、健康づくりの一助を担っている。三浦スポーツ&カルチャークラブが主催し、SUP体験と水難事故抑止の講義を実施したが、参加者の反応を伺う。

教育部長 三浦スポーツ&カルチャークラブのスタッフによる指導のもと、SUPは初体験という低学年の参加者も終盤には一人で立ち上がり、楽しくSUPを体験していた。消防署員による講義は、水上で、ペットボトル一本で浮かびやすくなる方法の実演などが行われ、参加者も実体験した。次年度の開催について引き続き検討を続ける考えで

ある。

質問 三浦海岸納涼まつり花火大会が開催された。新たにサミタイムとして今までのない形で彩られた。実施状況について伺う。

市長 三浦海岸納涼まつり花火大会は、三十九回目となる歴史ある花火大会である。三浦海岸の特徴を生かした財産であると認識をしている。来場者に楽しんでいただける花火大会として、三浦海岸地区を魅力あるまちにしていきたい。



三浦海岸の花火

※ SUP……スタンドアップパドルボード (一般質問の記事と写真は、質問者から提出されたものを掲載しています)



放課後支援と病院

放課後児童クラブと病院の現状
公明・みうらクラブ 鈴木 敏史

質問 八月三十一日に、

三浦市放課後児童クラブ 連絡協議会の懇談会に伺い、保護者の方・指導員の方から、お話を伺いました。就労・家族の介護等、子供が学校から帰る時間に、家で迎える事ができない家庭にとって、なくてはならない場所である。子育て支援を考えると、放課後児童クラブに対する支援は、大変重要であると思う。そこで、放課後児童クラブの現在の状況についてお聞き

市長 子育ての環境も大きく変わり、ライフスタイルも多様化し、子育て世代の共働も増加している。その中で、子育て支援にかかわる行政の役割も、大変大きくなりつつあると思う。今後も、放課後児童クラブを、運営する方々のお声を聞きながら、連携をとり支援を続けてまいりたい。

保健福祉部長 現在市内には、四ヶ所の放課後児童クラブがあり、全てが保護者会により運営されている。令和元年七月一日現在、四ヶ所合わせて百八十九名が利用し、市から補助金を交付して、支援している。指導員の処遇改善についても、放

課後児童クラブの質を確保する上で、重要であり各クラブと、調整・協議をし、今後検討する。
病院事務局長 ライフラインは、災害想定時の在院人数三百五十人で飲料水・五十日以上、ガス・想定喫食可能患者百五十人で食事の提供十日間、電気・自家発電により、燃料不補給でも三日間供給可能である。免震オイルダンパーの交換工事については、九月中旬に着工し、十月中旬の完成を目指す。また骨密度を測定する、DXA法の導入により精度が上がり、MRIもバージョンアップした事で、認知症の早期発見につなげたい。

市長 子育ての環境も大きく変わり、ライフスタイルも多様化し、子育て世代の共働も増加している。その中で、子育て支援にかかわる行政の役割も、大変大きくなりつつあると思う。今後も、放課後児童クラブを、運営する方々のお声を聞きながら、連携をとり支援を続けてまいりたい。

保健福祉部長 インターネットを使った誹謗中傷の被害の訴えを確認しており、県を通じて国に削除の依頼をしているところである。このような行為は許されるものでなく、今後も真摯に受けとめ対処していく。



住宅リフォーム

二町谷埋立地、教育、包括ケア
日本共産党 小林 直樹

質問 住宅リフォーム助成制度は、市内の施工業者が行う住宅やマンションのリフォームに対して助成するものであり、建設業の振興を図ることと住環境の向上を図ることを目的としている。

今年度は、二十万円以上の工事に七万円の助成金で、件数は四十件である。応募される方が多くいるので、来年も継続して実施すべきだが、いかがか？

市長 市民のニーズに

である、遅れる可能性があると感じている。

教育長 市民の皆さんと一緒に話し合い、よりよい三浦市の学校教育を作り上げていきたい。

保健福祉部長 「和田の交差点」は、危険個所として報告を受けており、

購入費等を市が負担する。購入可能な人数はおおむね十名程度、期間は六ヶ月程度を目安としている。今後も福祉避難所の確保の調整を行っていく。

二町谷埋立地の売却
質問 八月に、みうら漁協の役員会において浮棧橋の設置について同意の議決がされた。今後、具体的な協議が行われ、浮棧橋を作製し設置することになる。予定では、十二月末までになっているが、間に合うのか？

政策部長 十二月末までを目途としているが、非常に厳しいスケジュール

保健福祉部長 増設については検討すべき課題と強く認識している。

保健福祉部長 インターネットを使った誹謗中傷の被害の訴えを確認しており、県を通じて国に削除の依頼をしているところである。このような行為は許されるものでなく、今後も真摯に受けとめ対処していく。

(一般質問の記事と写真は、質問者から提出されたものを掲載しています)



二町谷埋立地



教育環境の整備

安全確保・学力向上・人権擁護
明日の三浦 運本 一朗

質問 初声町では学童の

数が増えて、高円坊での高速道路の工事などから、和田交差点付近の通学路は従来以上に危険になっている。通学路の安全点検についていかがか？

市長 県内の海水浴場の多くは自治体が開設しているのに対し、三浦市の海水浴場は、その全てが地元海水浴場組合や観光協会により開設、運営されている。



防災について

高齢者の交通事故対策
自由民主党 出口 正雄

福祉避難所
質問 油壺エデンの園と避難生活に特に配慮が必要な高齢者等を受入れる福祉避難所の開設の協定を三浦市が締結した。

費用負担等はいかがか？
総務部長 福祉避難所の設置及び運営に関する協定を八月一日に締結した。施設への避難は、原則としてご家族等が行うが、交通手段のない要配慮者への支援、避難所の運営費用として必要資材等の

購入費等を市が負担する。購入可能な人数はおおむね十名程度、期間は六ヶ月程度を目安としている。今後も福祉避難所の確保の調整を行っていく。

高齢者の交通事故
質問 高齢者による交通事故が多発している。原因としてブレーキとアクセルの踏み間違いによる急発進と思われるものが多くある。横須賀市では



健康寿命の延伸

子育て賃貸住宅等整備事業

公明・みうらクラブ 藤田 昇

健康寿命の延伸

質問 厚生労働省では、高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施に向けたプログラム検討のための実務者検討班において中間取りまとめ案を示している。最大のポイントは、高齢者が集まって運動や会食、趣味などを楽しむ、通いの場を中心とした介護予防の取り組みの強化のことである。

三浦市においても元氣アップ教室、ふれあいサロン、また脳の教室等行っているが、これからますます高齢化が進展すると予想される中で、保健事業と介護予防事業を縦割りで考えず横断的に事業を展開するべきと考えるが、市長の考えを伺う。

市長 おっしゃる通りだと思います。令和元年五月に法が変わり、医療保険のデータと介護保険のデータを連結して解析するなど、高齢者の保健事業と介護事業の一体的な実施が求められるようになってきている。高齢化率の高い

三浦市にとって、この制度の改正が大変いい効果を生むように、我々としても縦割りではなく各部署が連携して取り組んでまいりたいと思う。

要望 更に、医療・介護の連携で健康寿命の延伸が図れるよう要望する。

子育て賃貸住宅等整備 新たなコミュニティの実現について、本事業は南下浦市民センターと子育て賃貸住宅の複合施設の整備であり、子育て世代の方々のみならず多世代の人々が集う場所となると思う。市と利用者を含めた市民、また民間事業者が一体となったコミュニティのため

の取り組みが行われるものと期待しているが、新しいコミュニティの実現に向けて市長の考えを伺う。

市長 この施設は、おっしゃる通りに市民センターと新たな子育て賃貸住宅の複合施設で、この施設に期待する声は多々あると思う。事業の推進は、コミュニティ形成のための事業になるよう、また、地元を知る企業の強みとか、そういったことが期待されると思う。新たな子育て世代の皆さんからの市民センターを利用する多世代のコミュニティも複合的に融合することが大きな地域活性化の目標になると思う。



あつたかいまち

産み育てたくなるまちづくり

自由民主党 神田 真弓

質問

農業行政について毎年開催され独自の農業後継者と都会に住む女性との婚活イベントアグリデートについて事業概要や工夫された点について伺う。

質問

成育基本法に掲げる妊娠・出産・子育ての切れ目のない包括的支援においてこれまで十分でなかったと思われる、妊娠や出産への支援、妊娠補助成制度の支援を広げるべきではないか。

質問

近年、日本各地では過去に例を見ない規模で地震、津波、台風、集中豪雨、洪水などの自然災害が発生している。災害時子供・乳幼児用ミルク、いわゆる液体ミルクについて国内販売が解禁され、国内企業による販売がこの春から始まり、常温で保温でき、お湯で溶かす必要がないので災害時の有用性、備蓄の必要性をより多くの市民に知ってほしい。

質問

取り組みは厳しい状況であり、今後、県の助成制度とするように要望することも検討する。

質問 防災・減災について

経済部長 例年農業体験をとり入れ三浦市の農家へ嫁ごう、嫁いでいただこうという企画で大根の収穫体験とその大根を使用したピクルスづくりを体験し大変好評であり、今年はいちご狩りとイチゴジャムづくり等を企画

している。

保健福祉部長 現状では神奈川県の助成制度はないためシステム構築にかかる費用、審査支払機関などの調整などハードルの高い課題も多くなっております。三浦市単独での

即座に与えら



10カ月健診の様子



観光振興について

二町合理立・スーパーヨット

自由民主党 出口 眞琴

質問

三浦市の夏の観光の主力事業である海水浴場の今夏の状態について。

経済部長 台風の影響など天候不順により全体として昨年を下回ることを予想されている。

より中止となった。

質問 三崎・城ヶ島の花火大会の今後の開催については。

市長 実行委員会としてもぜひ開催したいという意向がある。市としてもサポートしていきたい。

初声地区の回遊性向上については。

経済部長 三戸や和田の海岸へ三崎口駅ポートから誘導を図っていく。

質問 三浦市へ来遊客を呼ぶための誘客営業について。

経済部長 教育旅行については関西地方を中心に営業活動を実施。今年度は北関東方面にも積極的な営業活動を実施する。

後受人調整会議において調整をしながら受け入れ環境を決定していく。

市長 地元経済の活性化のために、三浦市スーパーヨット誘致委員会を設立した。令和元年度は、スーパーヨット一隻の受け入れを行う予定。その後受人調整会議において調整をしながら受け入れ環境を決定していく。

この夏のイベントの状況について。

経済部長 三浦海岸の花火大会では八万八千人、みうら夜市が四万人以上の来場者で昨年よりも多く、盛況であった。三崎・城ヶ島花火大会については、台風十号の影響に

来遊者の回遊性の向上で、レンタサイクルの現在の状況については。

経済部長 年々利用者が増加している。新たに油壺ポートを開設し回遊の増加が期待できるものとして認識している。

本件について責任を感じているのか。議員を辞職して補欠選挙で信を問うべきではないか。

石渡議員 不徳のいたすところであり、今後は細心の注意を払いたい。三浦市の課題解決のために頑張っていきたい。

議員 選挙公報の作成に当たって、選挙管理委員会では記載事項の間違いについて、チェックや注意をしないのか。



スーパーヨット誘致

全員協議会を開催

令和元年9月24日

六月二十一日、二十五日に引き続き、石渡道臣議員に関する件について、全員協議会を開催しました。※六月の協議会は、四月の市議選に際し、選

六月二十一日、二十五日に引き続き、石渡道臣議員に関する件について、全員協議会を開催しました。※六月の協議会は、四月の市議選に際し、選

本件について責任を感じているのか。議員を辞職して補欠選挙で信を問うべきではないか。

石渡議員 不徳のいたすところであり、今後は細心の注意を払いたい。三浦市の課題解決のために頑張っていきたい。

議員 選挙公報の作成に当たって、選挙管理委員会では記載事項の間違いについて、チェックや注意をしないのか。

本件について責任を感じているのか。議員を辞職して補欠選挙で信を問うべきではないか。

石渡議員 不徳のいたすところであり、今後は細心の注意を払いたい。三浦市の課題解決のために頑張っていきたい。

議員 選挙公報の作成に当たって、選挙管理委員会では記載事項の間違いについて、チェックや注意をしないのか。

特別委員会を設置

定例会最終日の本会議において、各会派から選出された八人の委員で構成する特別委員会を設置しました。

三浦市選挙管理委員会の事務や関連する事項についての調査を行います。

選挙管理委員会の事務等に関する調査特別委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 出口 眞琴 |
| 副委員長 | 藤田 昇 |
| 委員 | 蓮本 一朗 |
| | 寺田 一樹 |
| | 溝川 幸二 |
| | 長島満理子 |
| | 出口 正雄 |
| | 小林直樹 |

本会議における討論

議案第44号 平成30年度三浦市一般会計決算の認定について

反対討論

日本共産党 石橋むつみ

市の正規職員の数は定数より大幅に少なく、慢性的に長時間残業をしている部署がある。職員が健康で、市役所本来の仕事を行えるような人事政策が必要である。

ごみの減量と資源化は、行政の大きな課題である。分別、減量することで環境への負荷を少なくし、財政支出も減らすことができるため、さらなる取り組みの充実を求める。

就学援助制度については、三浦市は学用品費などの支給額が国基準の二分の一であり、支給対象世帯の基準は横須賀市より低い。支給額を国基準に、支給対象世帯を横須賀市と同じにして、児童・生徒が安心して教育を受けられるようにしてほしい。市の財政状況は厳しいが、公正で民主的な市民本位の行財政運営で市民生活と営業を守ることを求めて、反対する。

賛成討論

自由民主党 神田眞弓

平成三十年度の政策として、県立三崎高校跡地での商業施設や市民交流センター開設に向けての取り組みは、今後の新しい人の流れに期待できるものである。

また、厳しい財政状況にもかかわらず、小児医療費無料化の対象年齢を引き上げ、子育て世代包括支援センターを全国でいち早く設置して、子育て支援に取り組んだことは評価する。

三浦国際市民マラソンに係る職員の不祥事が発覚以降、最初の大会である第三十七回大会は、市民の信頼回復に向け、職員が一丸となって取り組み、大会が成功した。今後も、事件の全容解明や信頼回復の取り組みに期待する。

今後も市民の目線に立ち、市民ファーストの立場で、あったかい三浦市政を継続することを願って、賛成する。

賛成討論

公明・みうらクラブ 藤田 昇

本市の財政状況は依然として厳しいが、市税等の徴収強化やふるさと納税の寄附により歳入増加を図っている。また、歳出削減策としては、ごみダイエット大作戦に取り組む、ごみの焼却費用の削減が図られた。

また、市民の生命と財産を守るため、津波ハザードマップの更新やスタンドパイプの配備などを行い、防災・減災対策の促進が図られたことは評価できる。

本市が直面する厳しい財政状況を乗り越えるため、行財政改革のさらなる取り組みが求められている。吉田市長が先頭に立って課題解決に取り組む、また、官民協働で市内経済を活性化させて、市民の安全・安心と生活の向上が図られる市政運営を期待して、賛成する。

人事

定例会後に任期満了を迎える、教育委員会委員及び公平委員会委員の任命または選任をするための議案が提出され、いずれも同意することに決しました。

教育委員会委員

石毛 浩雄 氏

公平委員会委員

高木 巖 氏

市長より、次の方を人権擁護委員として法務大臣に推薦することにつき議会の意見を求める諮問が提出され、異議なき旨、答申しました。

人権擁護委員

湊 けい子 氏

議会活動を

見てみよう

三浦市議会の本会議、委員会には自由に傍聴することができます。ぜひ、実際に議会の様子をごらんになってください。団体、グループでも、お気軽にお越しください。

九月定例会では、三浦市ボランティア連絡協議会の皆さん(二十五人)が本会議を傍聴されました。



可決した意見書(概要)

放課後児童クラブ(学童保育)の質の確保を求める意見書

平成27年度から子ども・子育て支援新制度が始まり、放課後児童クラブ(学童保育)においては、児童福祉法により、放課後児童支援員の資格を有する支援員の複数配置が、従うべき基準として定められた。

一方、地方分権改革の提案募集では、全国的に放課後児童クラブ(学童保育)の人材不足が深刻化し、運営に支障が生じているとして、従うべき基準の緩和を求める提案が地方から国に提出された。

しかし、従うべき基準が緩和され、職員の配置基準が低くなると、子供の命と安全を守るための体制が弱体化するおそれがある。また、遊びや活動を制限せざるを得ない状況になる等、放課後児童クラブ(学童保育)での生活の保障が困難になる可能性がある。

よって、国においては、放課後児童支援員を初めとする職員の質の確保と処遇改善に向けた施策を講ずるよう強く要望する。

〈提出先〉内閣総理大臣、財務大臣、厚生労働大臣

教職員定数改善の推進及び教育予算の拡充を求める意見書

学習指導要領の改訂に伴う移行期間が始まり、小学校においては外国語に関わる教育実施に向けた対応に苦慮している。中学校においても部活動指導等があり、国の調査では週20時間以上の残業をした教員が6割近くを占めた。また、障害のある子供たちへの合理的配慮、いじめ・不登校への対応など、学校に求められる役割は拡大している。

こうした課題解決には、計画的な教職員定数の改善や、学校教育設備の環境改善と安全対策を進めていくことが必要である。

よって、国においては、次の措置を講ずるよう強く要望する。

- 1 子供たちの教育環境改善のため、計画的な教職員定数の改善を推進すること。
- 2 学校施設整備費、教材費、図書費、旅費、学校・通学路の安全対策などのために地方交付税を含む国の予算を拡充すること。

〈提出先〉内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、文部科学大臣

検討会を設置

「ICTに関する検討委員会」を設置しました。タブレットの導入を初め、議会内でのICT(情報通信技術)活用について、情報収集や協議を行ってまいります。

二面写真の紹介

市議会議長の草間です。今号の三浦市議会だよりから、一面の写真と紹介を担当します。

今回の写真は、九月八日に若宮相撲場で開催された「第三十八回若宮初声っ子相撲大会」の取組の様子です。当日は台風の接近により天候が心配されましたが、無事に開催されました。

「若宮初声っ子相撲大会」は大変歴史のある大会で、地域に定着した大会として毎年盛大に行われています。地元の小・中学生の皆さんが大勢参加し、数々の名勝負が生まれています。

本大会の開催にご尽力いただきました保存会並びに関係者の皆様に、心より敬意を表します。

議会を傍聴しませんか

令和元年第4回定例会は、次の日程により開かれる予定です。

| 月日 | 曜日 | 会議名等 |
|--------|----|---|
| 11月26日 | 火 | 招集告示 |
| 28日 | 木 | 議会運営委員会(日程・審議方法等決定) |
| 12月3日 | 火 | 本会議(一般質問) |
| 4日 | 水 | 本会議(一般質問) |
| 5日 | 木 | 本会議(一般質問) |
| 6日 | 金 | 総務経済常任委員会 |
| 9日 | 月 | 都市厚生常任委員会 |
| 11日 | 水 | 三浦国際市民マラソン事業に関する調査特別委員会 選挙管理委員会の事務等に関する調査特別委員会 |
| 13日 | 金 | 本会議(委員長報告・採決) |

※今定例会で審査する請願・陳情の提出期限は11月27日(水)です。



三浦市議会ウェブサイトはこちらから
議会の日程、会議録、議会インターネット中継など、議会に関する情報がごらんになれます。

議会報告会

十月五日、六日に議会報告会を市内三地区で開催しました。今年、若者、シニア、ごみ減量等にかかわる方を対象に実施しました。

共通テーマや各地区の会場、開催日時、会場別テーマ、参加対象者、参加人数は次のとおりです。

- 共通テーマ
 - ・ごみ処理について
- 三崎地区(三浦市役所 議場)
 - ・十月五日(土) 午後二時
 - ・三浦の魅力再発見
 - ・市内中高生 十人
- 南下浦地区(三浦市民交流センター 研修室)
 - ・十月五日(土) 午後七時
 - ・シニアの健康づくり
 - ・三浦市老人クラブ 十六人



チラシの梱包作業



リハーサルの様子

- 初声地区(潮風アリーナ 研修室)
 - ・十月六日(日) 午後二時
 - ・ごみの資源化と減量化
 - ・廃棄物減量等推進員、キエーロモニター体験者等 二十六人
- 各会場で出された質疑や意見等は、次号の三浦市議会だより及び三浦市議会ウェブサイトに掲載します。

本会議での議案等の審議結果

〈全員賛成で議決した議案〉

【議案】

- 第36号 三浦市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例
- 第37号 地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例
- 第38号 三浦市印鑑条例の一部を改正する条例
- 第39号 三浦市基金条例の一部を改正する条例
- 第40号 三浦市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例
- 第41号 三浦市消防団条例の一部を改正する条例
- 第42号 損害賠償の額の決定及び和解について
- 第43号 字の区域の変更について
- 第47号 平成30年度三浦市介護保険事業特別会計決算の認定について
- 第48号 平成30年度三浦市市場事業特別会計決算の認定について
- 第51号 平成30年度三浦市病院事業会計決算の認定について
- 第52号 平成30年度三浦市水道事業会計決算の認定について

- 第60号 事務の委託に関する協議について
- 第61号 事務の受託に関する協議について
- 第62号 財産の無償譲渡について
- 第63号 教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて
- 第64号 公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて

【諮問】

- 第1号 人権擁護委員の推薦について

【意見書案】

- 第1号 放課後児童クラブ(学童保育)の質の確保を求める意見書
- 第2号 教職員定数改善の推進及び教育予算の拡充を求める意見書

〈賛否が分かれた議案〉 ○賛成 ●反対

| 番号 | 件名 | 審議結果 | 自由民主党 | | | | 公明・みうらクラブ | | | 日本共産党 | | 明日の三浦 | | 無所属 |
|----------|--|------|-------|-------|------|------|-----------|------|------|-------|-------|-------|------|------|
| | | | 草間道治 | 長島満理子 | 出口正雄 | 神田真弓 | 出口真琴 | 溝川幸二 | 鈴木敏史 | 藤田昇 | 石橋むつみ | 小林直樹 | 石渡道臣 | 蓮本一朗 |
| 【議案】第44号 | 平成30年度三浦市一般会計決算の認定について | 原案認定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ● | ○ | ○ | ○ |
| 第45号 | 平成30年度三浦市国民健康保険事業特別会計決算の認定について | 原案認定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ● | ○ | ○ | ○ |
| 第46号 | 平成30年度三浦市後期高齢者医療事業特別会計決算の認定について | 原案認定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ● | ○ | ○ | ○ |
| 第49号 | 平成30年度三浦市公共下水道事業特別会計決算の認定について | 原案認定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ● | ○ | ○ | ○ |
| 第50号 | 平成30年度三浦市第三セクター等改革推進債償還事業特別会計決算の認定について | 原案認定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ● | ○ | ○ | ○ |
| 第53号 | 令和元年度三浦市一般会計補正予算(第2号) | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ● | ○ | ○ | ○ |
| 第54号 | 令和元年度三浦市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号) | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ● | ○ | ○ | ○ |
| 第55号 | 令和元年度三浦市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号) | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ● | ○ | ○ | ○ |
| 第56号 | 令和元年度三浦市介護保険事業特別会計補正予算(第2号) | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ● | ○ | ○ | ○ |
| 第57号 | 令和元年度三浦市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号) | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ● | ○ | ○ | ○ |
| 第58号 | 令和元年度三浦市病院事業会計補正予算(第1号) | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ● | ○ | ○ | ○ |
| 第59号 | 令和元年度三浦市水道事業会計補正予算(第1号) | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ● | ○ | ○ | ○ |

※議長は表決に加わらない

第3回定例会の本会議録は、12月上旬から市役所市民協働課、図書館、または議会ウェブサイト内の会議録検索システムで閲覧できます。